

隔月発行

# 富士通ワイエフシー社内報

2009.3  
No.0011  
編集:広報委員会

## ■創立43周年おめでとうございます。

2009年3月25日、富士通ワイエフシーは43歳の誕生日を迎えました。人間の男性で言えば一般的には厄年を抜けたところということになりますが、皆さん御存知のように、当社は京浜地区における老舗と言える情報サービス企業の一つです。新聞広告に掲載された社長の言葉にもあるように、横浜で言えば市営地下鉄より歴史が古い企業です。この経験量を強みに、当社が益々の発展を遂げていくことが出来るよう、頑張りましょう。以下、宮浦社長のあいさつ文です。



当日の神奈川新聞には感謝の広告を掲載しました。

おかげさまで、本日、当社は43周年を迎えることができました。

当社が創業したのは、昭和41年3月25日。まだ横浜市営地下鉄が開業する前のことでした。以来、43年に渡り、神奈川地区のお客様からのご支援の下、おかげさまで高度なITソリューションを提供できる企業として成長して参りました。永年にわたるご愛顧に感謝申し上げます。

現在は経営ビジョン、「地域のお客様のために、世界No.1のITソリューションを提供し続ける企業を目指す」の実現に向けて、社員一丸となって取り組んでおります。2006年1月の女性活性化プロジェクトの立上げからは、社員が元気に気持ちよく、楽しく働けるよう、ワークライフバランス実現への取組を激しく推進しております。

具体的には、テレワークの導入、出産・育児・介護のための制度改善、また月2日間は全社員ノー残業とする定時退社の推進などを行ない、一人ひとりが望むライフ(生活)とワーク(仕事)をバランス良く実現できる、働きやすい会社を目指しております。

また、地元からの学校からの積極的な採用、様々な条件に対応した中途採用の実施、また地元大学との産学連携や横浜開港150周年記念事業の支援など、地域貢献にも力を入れております。

これからも地元神奈川のお客様のため、真心こめた世界No.1のITソリューションを提供し続け、お客様とともに成長し、地域の発展に貢献して参ります。

どうぞ引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社富士通ワイエフシー  
代表取締役社長

宮浦 完次

## ■社内報の電子化について【広報】

前号にて、社内報は紙媒体での配布を終了いたしました。今号より、社内ポータルサイト「ワイワイネット」への掲示と社外向けWebページへの公開にて配布して参ります。

これまで紙媒体という存在感で社外常駐勤務の方にも好評を頂いておりましたが、社内報の存在自体が定着して参りましたので、ペーパーレスなどの観点からも紙媒体配布を停止いたします。今号からは社外ページを通じて愛読頂けますようお願いいたします。もちろん社員のご家族の方やお取引先のお客様にも当社のホットな情報をお届けして参りたいと思っております。今後ともご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

発行タイミングと致しましては、これまで媒体配布の観点から奇数月の給与明細と同時配布として参りましたが、今後は奇数月末の掲載とさせていただきます。

## ■テクニカルショウヨコハマに出展しました【旧:営業本部】

2009年2月4日から三日間、パシフィコ横浜にて開催された「テクニカルショウヨコハマ2009」に当社ブースを出展しました。今回はGLOVIA smartとアウトソーシングを展示。「生産管理システムGLOVIA smart製造PRONES」に関するセミナーも実施し、会場は盛況でした。



## ■法林室長がベストワーキングウーマン表彰を受賞【ワークライフバランス推進室】

神奈川県情報サービス産業協会による第3回ベストワーキングウーマン表彰において、当社ワークライフバランス推進室長の法林佳世がキャリアアップ賞を受賞いたしました。神奈川県情報サービス産業協会、女性活用委員会では、「女性が長く働き続ける為に」をキーワードとして、どのような事業を計画していけば良いかを検討して参りました。その中のひとつとして、男性経営者にも女性の活用を意識していただき、働く女性自身にも何か励みになり誇りと思えるような事業としてこの表彰制度を運営されています。



## 1・12月度業務報告 ダイジェスト【経営戦略室】

■「富士通ファミリ会2008年度論文」奨励論文に法林室長が入賞  
「実践的テレワークにより社員のワークライフバランス向上へ」5/14「富士通フォーラム2009」で発表

■2月1日付けで組織変更を実施しました。

新たに業種別本部を設置し、営業とSEのより一層の一体化を図ることで、提案や受注、開発のスピードアップを促進します。

# 特別寄稿コーナー

## ■ ランニングへのいざない～ 総務部：高橋 主席部長

2009東京マラソンへの応募者26万余人、競争率7.5倍！！世の中は大変なランニングブームであります。私は2007年秋、知人に誘われるままに、大胆かつ傲慢かつ無謀にも横浜マラソン10キロの部に参加し、幸運なことに完走することができました。1時間9分。制限時間1分前！3250人中3150位。(私より遅いランナーが100人もいました！)

これを契機にランニングの魅力にハマり、週末のジョギング、機会をとらえての大会参加等で走り続けています。仲間と一緒にアマチュア駅伝大会参加も大いに盛り上がり愉快なことです。これまでの参加種目は10キロの部が中心だったのですが、2009.2.1の神奈川マラソンでハーフ21.1キロのレースに初挑戦しました。ハーフのレースに出るなど、2007年秋には想像もつかないことでありました。タイムは2時間5分。なお現在の10キロ自己ベストは51分です。2007横浜マラソン時の69分比、18分もの短縮です。走る距離を少し増やした昨年9月以降、5ヶ月で体重が75キロから66キロに激減し、体脂肪率も25から19に減少しました。



「市民ランナーの99%は元陸上部員ではありません」これは市民ランナー専門コーチの鈴木彰さんの言葉です。キッカケを捉え、無理のないトレーニングを積みさえすれば誰にでも、しかも何歳からでも楽しめるスポーツだと思っています。なぜなら昔からかっこ(特に持久走)が大の苦手だったこの私にできているのですから。(以来禁煙も継続中という余禄も)

### ◇メリット

快食、快眠→食事がおいしくなり、しかもよく眠れます  
ビールの味向上→ランニング、レース後の一杯、ゲキウマです。(「なんもいえねー」モードになります)  
メタボ解消→ストレス発散→体脂肪を燃やし減量、その結果さらに楽に走れます。  
暴飲暴食抑制→楽しいランニングの阻害要因とわかっているのだから自然とそうなります。  
(「自分で自分をほめたい」モードになります)  
レース後の達成感→完走はそれ自体で輝かしい勲章、それに伴う、深い満足感、高揚感、達成感が得られます(「今まで生きてきた中で一番シアワセ」モードになります)

### ◇デメリット

- ・ ネオン街徘徊の欲望が減退する→居酒屋オカミ、スナックママから忘れ去られるリスク
- ・ 小指を立て、マイクを握りたいという衝動がうすれる→新曲が覚えられないリスク
- ・ 禁断症状→走らないでいられない症候群に陥るリスク
- ・ 究極のストイシズム→ストイックにならざるを得ないリスク  
(しかし全ては至高善の愉悦ランのため、なんのその！！)

さあ、みなさんもランニングの世界に一步踏み出してみたいはかがですか？  
禁断の劇薬にも似た、甘美かつ至福かつ上質の中毒感覚があなたを捉えて離さないことでしょ！

## ■ 投稿川柳『ちょっと一句』

- ◆ エボシ岩サザンビーチに富士の山(2008湘南国際マラソンを詠めり)
- ◆ 皇居ランシャワーとビールでワンセット(こればっかし)
- ◆ リーズモー発麵単品ホントは付けたい半ギョーザ(ストイシズムの美学！)

## ■ 内定者研修が終了

3月28日に第6回の内定者研修会が終了し、10月から半年間に亘った内定者研修が終了しました。4月1日に入社する新入社員は31名と近年最多です。当社の社員平均年齢もグッと下がり、社全体が若返ります。フレッシュな新入社員に負けることの無いよう、新年度にあたって気分を新たに若々しく頑張りましょう。

## ■ 映画『旭山動物園物語』観覧チケットを配布しました。

横浜市民プラザ様の御好意で、映画『旭山動物園物語』の特別チケットを購入することが出来ましたので、社内希望者から抽選の上配布いたしました。高倍率の中、見事当選した医療ビジネス本部のNさんより感想を伺いました。

真剣に動物たちとの関わり方を模索している飼育員の方達に感動したり、動物たちの迫力ある姿に圧倒されたり、人間も動物も愛嬌たっぷり面白かったです。動物好きで、ほんわかしたい方にオススメな映画かなと思います。

## ■ IT経営実践認定企業として認定されました

当社は経済産業省主催の「中小企業IT企業力大賞2009」において、経営課題解決のためのIT経営推進の取り組みとして、テレワークの導入、およびGLOVIAsmartの導入による基幹システムの統合と社内情報の「見える化」実現、さらに導入のリファレンスモデル構築等を実践したことにより「IT経営実践認定企業」に認定されました。

「中小企業IT企業力大賞2009」とは、優れたIT経営を実現し、かつ、他の中小企業がIT経営に取り組む際に参考となるような中小企業等を経済産業大臣等が表彰する制度です。業務全般にITが活用され、そこから得られたデータを経営上の判断に利用し、企業内最適化又は企業間最適化が図られていると認められる企業として、当社が広く認められたことを示しています。



中小企業IT経営力大賞

## 編集後記

今回は電子化版1回目ということもあり、特別寄稿などを頂いて、大幅なボリュームアップでお届けいたしました。社内報では社員のみなさんの寄稿をお待ちしております。趣味の話などお気軽に右記までお寄せ下さい。また、左記の『ちょっと一句』も募集いたします。匿名でも構いませんので是非投稿してください！

ご意見、ご要望は下記まで！

広報事務局 林  
naoyuki.hayashi@jp.fujitsu.com  
内線：7177-2602